

「未病」

（人生100年時代の新・健康観）

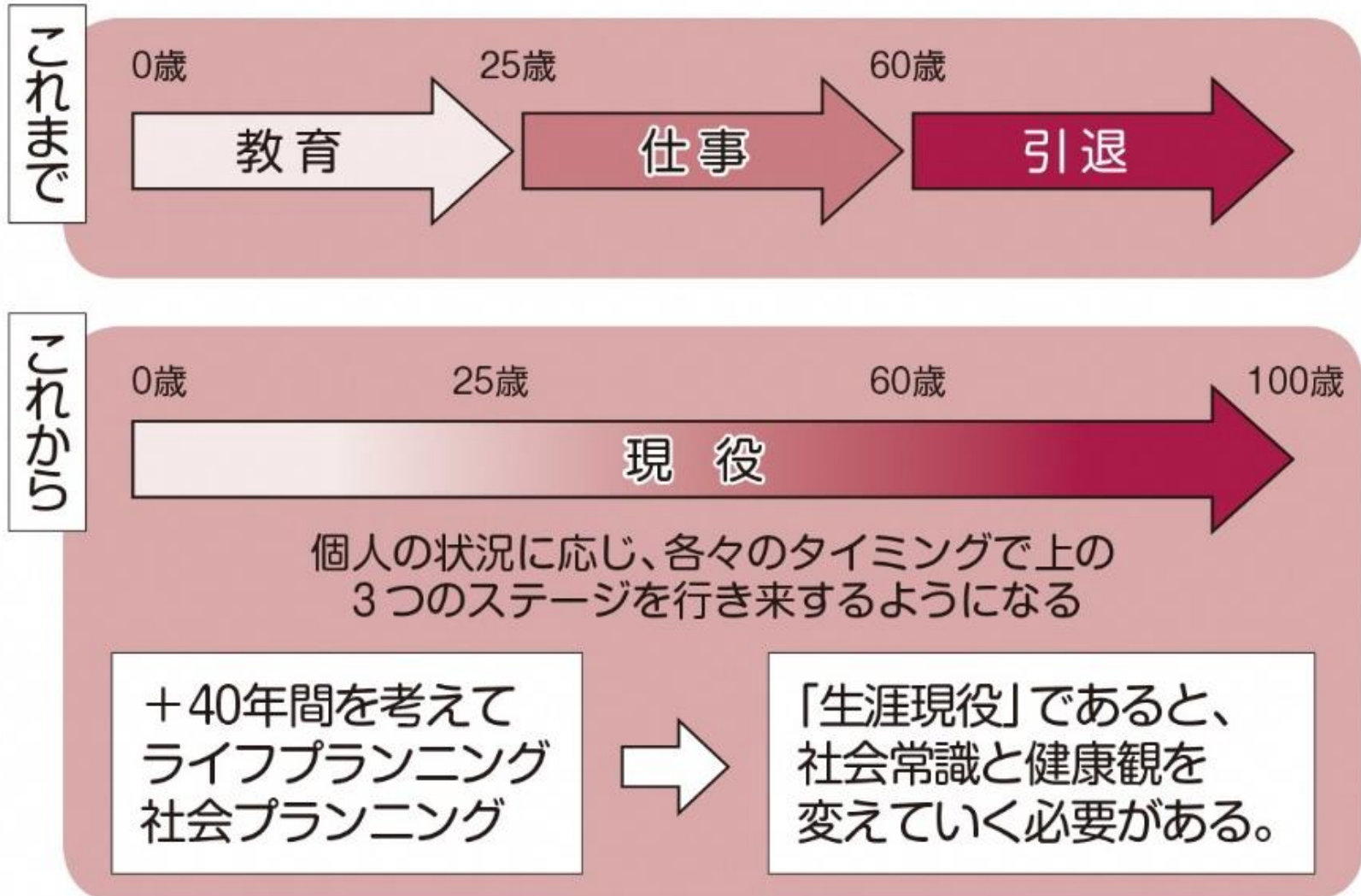
平成30年11月16日

神奈川県立保健福祉大学理事長

大谷 泰夫

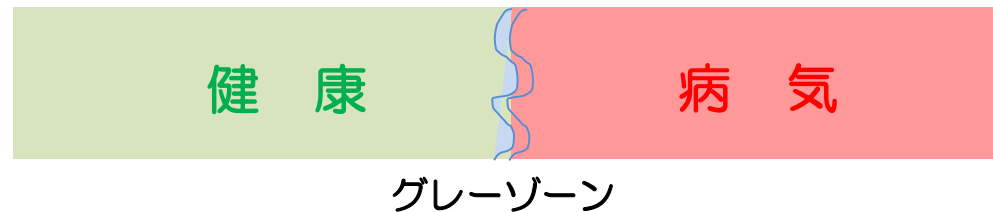
「未病」という新・健康観

人生100年時代～求められる人生モデルの変換



「未病」とは？

◆いままで：健康か病気かの2分法の健康観



◆これから：「病気か健康か」という二択ではない
「新たな領域」を意識した健康観



➡ 「生き方」の変革につながる新しい考え方

「未病」の考え方が広げる様々なイメージ

健 康

未 病

病 気

生きる楽しさを追求したい。
魅力的であり続けたい。

いつまでも
足腰を強く保つために
運動をしよう

心も、体も
健康でいられる
仕事環境をつくろう

健診の結果が
悪くならないように
食生活や生活習慣を
改善しよう

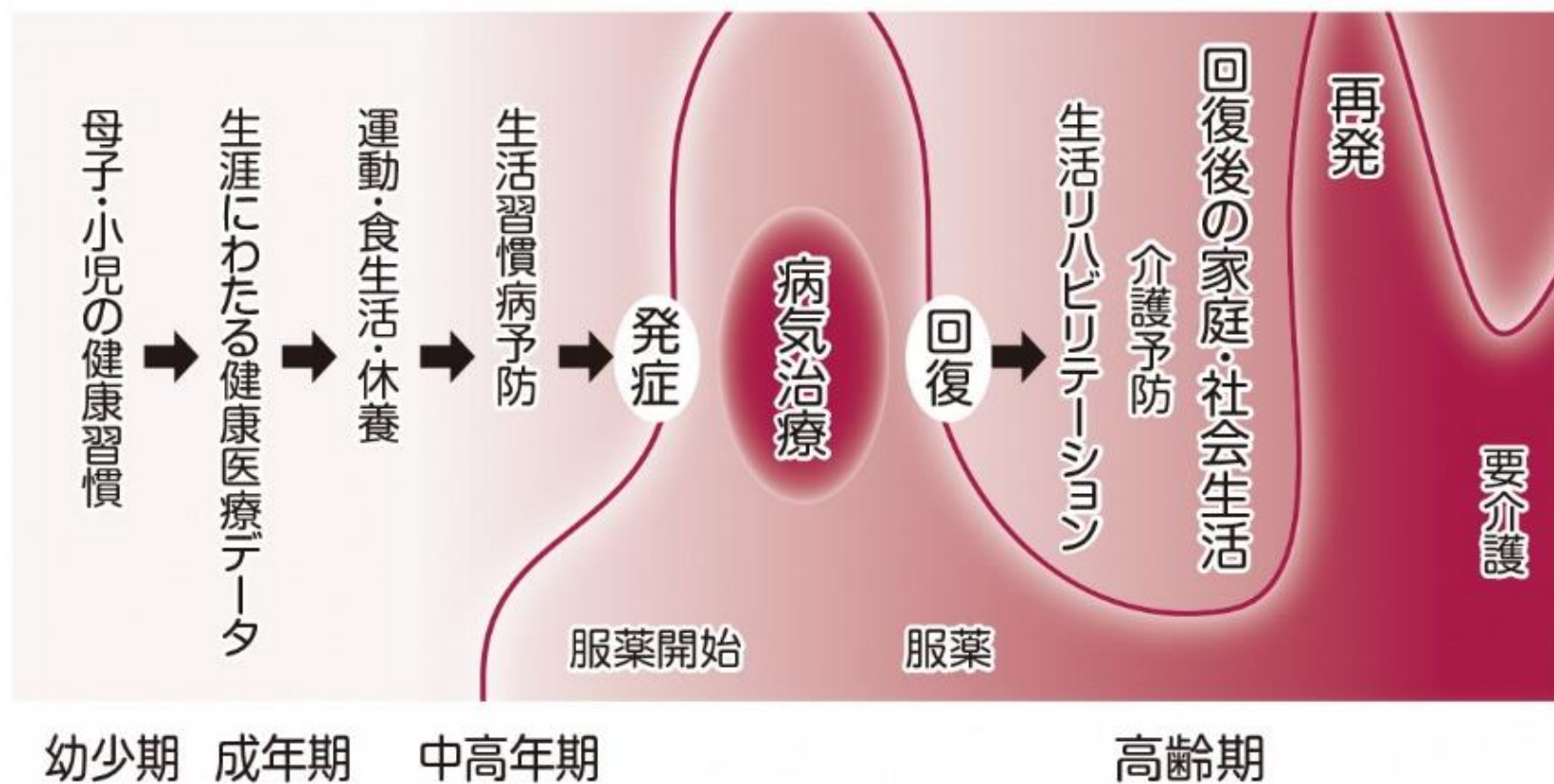
病気の回復後は
再び入院しないよう
注意しよう

医師や周囲の人たちと
協力して、上手に
年齢を重ねて生きていこう

など・・・

「未病」がカバーする領域

人生

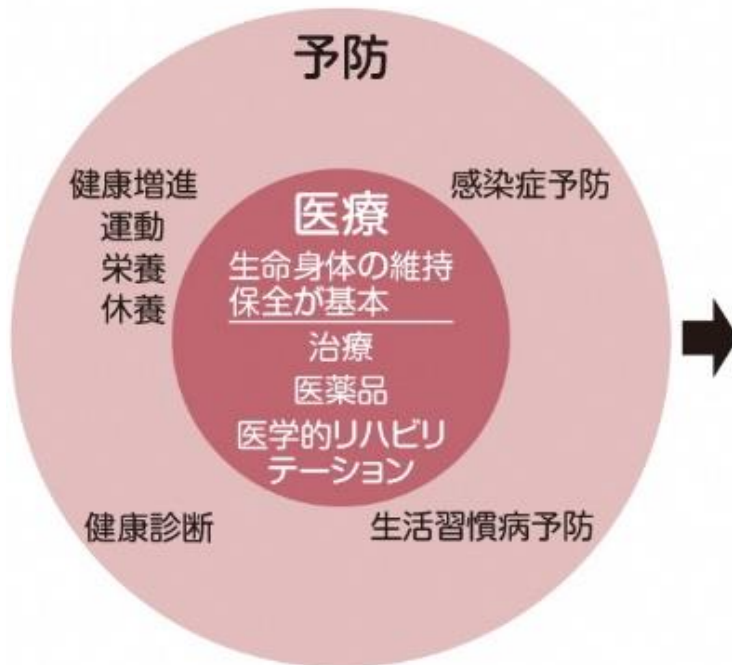


「未病」を改善する3つの取り組み



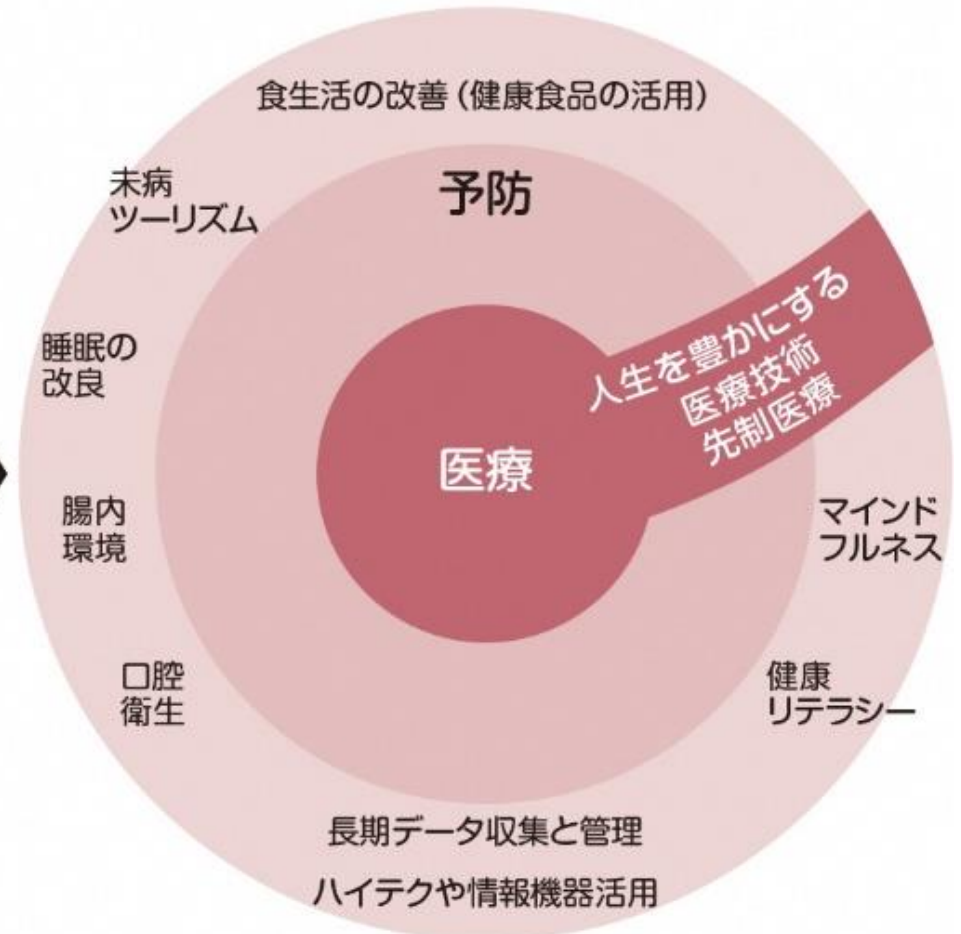
新時代のヘルスケア

〈旧〉



防御的、社会防衛的対応

〈新〉



積極的、創造的対応

「未病」という新しい政策潮流

いままで
の発想

決めてもらう



行政

認証・補助・制度化する



専門家

専門家による
サービス提供



企業

枠組みに制約された
商品・サービスの提供



個人

受動的な行動

から



これから

自分で決める・自分でえらぶ



個人

自らの判断による行動変容



企業

企業などが責任を持って提供する
商品・サービスによるサポート



専門家

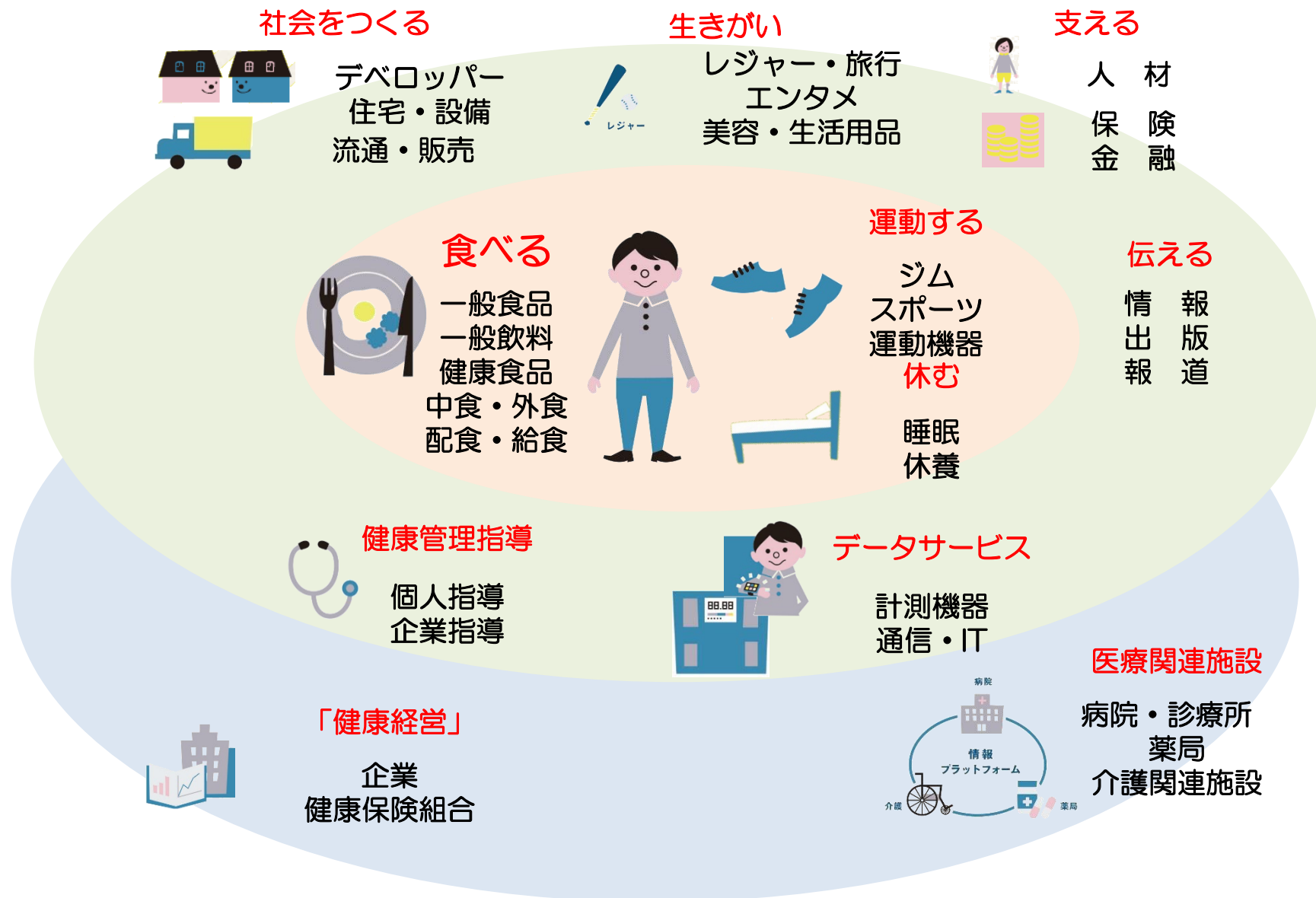
専門家（医師、歯科医師、薬剤師、看護師など）
の知識に基づく関与、指導



行政

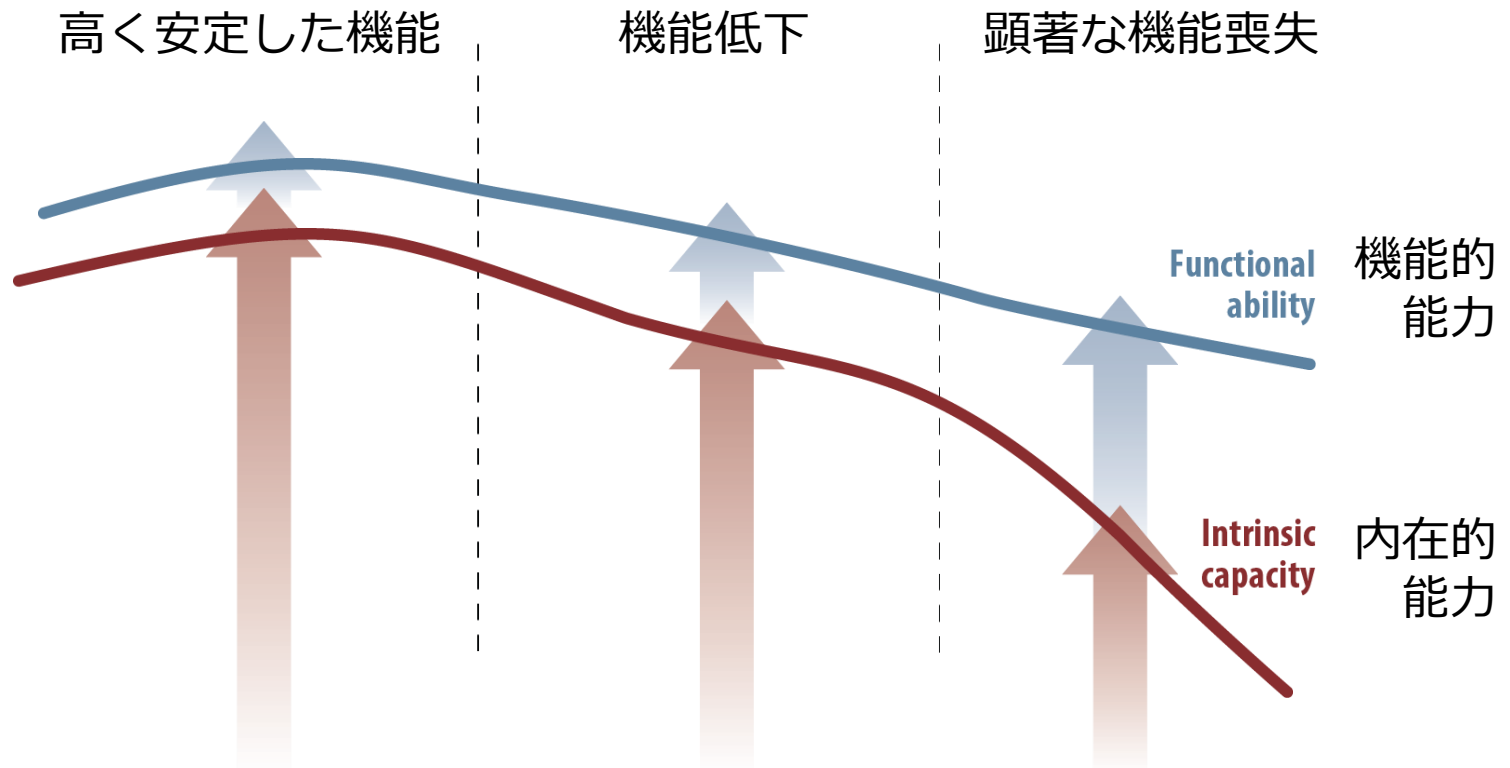
自治体・国などによる支援

「未病」に関わる民間サービス



健康な高齢化のための公衆衛生の枠組みと機会

Opportunities to foster *Healthy Ageing*



出典：WHO

【未病コンセプト】健康・医療戦略への位置づけ

「健康・医療戦略」（抄）（平成29年2月17日 閣議決定）

「こうしたデータを元に保健医療の専門職が適切な段階で適切な予防策を講じることができるようになれば、健康寿命は更に延伸する。

PHRの実現、すなわち健康・医療・介護に分散している情報を個人単位として統合する際には、

健康か病気かという二分論ではなく健康と病気を連続的に捉える

「未病」の考え方などが重要になると予想される。

その際には、健康・医療関連の社会制度も変革が求められ、その流れの中で、新しいヘルスケア産業が創出されるなどの動きも期待される。

（中略）

（注2）未病とは、健康と病気を「二分論」の概念で捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものとして捉え、この全ての変化の過程を表す概念である。…」

健康・医療戦略

平成 26 年 7 月 22 日 閣議決定
平成 29 年 2 月 17 日 一部変更

未病コンセプトがもたらす効果

- ① 人生100年時代に向けての備え
 - ・心身状態の維持
 - ・リカレント教育
 - ・社会的対応
- ② 未病産業の伸展
 - ・グレーゾーンの転換
 - ・活用されない巨額な高齢者資産の回転
- ③ 医療費の効率的な使用と医療制度のサステナビリティ
(持続可能性)
- ④ 高齢化先進国としての社会経済モデルの提示
(世界戦略としての未病)

【日本健康マスター検定】とは



生活者、ビジネスパーソンの“**健康リテラシー**”を高め、地域/職域/学域での「セルフケア」「コミュニティケア」の活性化、健康関連市場の拡大への貢献、健康長寿社会の実現を目指す。

●目標：「漢検」「英検」と共に、“日本三大検定”の一角を占める

●主催：一般社団法人 日本健康生活推進協会（2016.4発足）

●監修協力：日本医師会

●後援：

日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会、日本栄養士会、NHKエンタープライズ、NHKエデュケーショナル、NHK厚生文化事業団、サンケイリビング新聞社、スマート・ライフ・プロジェクト(厚生労働省)、健康日本21推進全国連絡協議会、健康体力づくり事業団、日本健康運動指導士会、日本ウォーキング協会、スポーツ健康産業団体連合会、日本フィットネス産業協会、日本保育協会、全国理容生活衛生同業組合連合会、全日本美容業生活衛生同業組合連合会、日本チェーン・ドラッグストア協会、スマートウェルネスコミュニティ（SWC）協議会、全国健康増進協議会、神奈川県、広島県、高知県、島根県、福岡市、北九州市

●特別パートナー：東京海上日動火災保険 / 住友生命保険相互会社

●パートナー：メディカルホールディングス

●協力：ルネサンス

ヘルスイノベーションスクールの概要

【目的】

保健医療分野におけるイノベーション人材の育成

【設置形態】

2019（平成31）年4月、公立大学法人神奈川県立保健福祉大学
大学院に、ヘルスイノベーション研究科（通称：ヘルスイノベーションスクール）
を設置

【修業年限】

2年

【設置場所】

川崎市殿町地区

【学位】

修士（公衆衛生学） Master of Public Health

【定員】

15名

うち、留学生若干名

（ASEAN地域からの学生を想定）

【履修言語】

日本語、英語による授業

ヘルスイノベーションスクール入居予定

